

アイルランドの大飢饉、1845—52年*

——文献史的エッセー——

The Great Irish Famine, 1845-52: bibliographical essay

高 神 信 一

Shin-ichi TAKAGAMI

I はしがき

1845年後半にアイルランドではジャガイモの胴枯れ病が発生した。胴枯れ病はアイルランド各地でジャガイモの不作をもたらし、その結果、大飢饉をひきおこした。大飢饉はアイルランドの人口を大幅に減少させるなど、アイルランドの社会・経済に大きな影響を与えたが、その研究はあまり進展してはいない。このことは、大飢饉の地域研究が一部の地域を除いて (Grant, J. [1986]; Foley, K. [1987]; Hannigan, K. [1992])、ほとんどなされていないことに反映している。

大飢饉はどのように研究されてきたのだろうか。アイルランド史研究では、イギリス支配への非難を中心とする民族主義的歴史観が長年にわたって支配的であった。この歴史観においては大飢饉の「悲惨さ」が強調される。そしてイギリス政府は救済策をとらずに餓死・移民による人口減少によってアイルランドを無力化したとされる。つまり大飢饉は「天災」ではなく「人災」なのである。

1956年に出版されたエドワーズとウィリアムズの編による研究は、この民族主義的歴史観による大飢饉の解釈を修正しようとする試みであった (Edwards, R. D. and Williams, T. D. (eds.) [1956]; Ó Gráda, C. [1992])。エドワーズらの研究は大飢饉の経済的分析などは新しい研究に置き換えられる必要があるものの、政治的背景、医療史的側面、フォークロアなどは今日においてもその有効性を失っておらず、大飢饉研究のさいの基本書となっている。

また大飢饉の叙述史としてはウッドサムスミスの研究が重要である (Woodham-Smith, C [1962])。それは、当時の首相 J・ラッセル、大蔵事務次官 C・トレヴェリアンを中心に大飢饉を叙述している。アイルランド史研究者はこの研究を大飢饉のドラマティックで感情に訴える側面を誇張しているという理由から無視あるいは軽視している。

本稿の目的は、エドワーズらの研究とウッドサムスミスの研究から、現在までを整理しながら、大飢饉とは何であったのかを明らかにすることである。その全体像を理解するには、Daly, M. [1986], Ó Gráda, C. [1989], Donnelly, J. S. [1989], Kineally, C. [1994] が有益である。

II 胴枯れ病の発生

1 胴枯れ病

ジャガイモは新大陸からスペインを経由して1590年頃アイルランドにもたらされたといわれている (Salaman, R. N. [1985])。ジャガイモはオート麦などの穀類の代替物として重要

*平成7年5月 原稿受理
大阪産業大学 経済学部

となり、穀物栽培に適さない土壌でも栽培可能であった。そのためとくにアイルランド西部の土壌の悪い地域では貴重な栽培物となった。後述するように大飢饉の影響がもっとも深刻であったのは、この西部地域である。アイルランドの最初の農業統計は1847年にとられたので、大飢饉直前の農業の状態は推定するしかないが、耕地の約3分の2がジャガイモであったとされている (Crotty, R. D. [1966]; Bourke, P. M. A. [1968]; Mokyry, J. [1981])。

ジャガイモの胴枯れ病がアイルランドではじめて新聞報道されたのは、1845年9月のことであった。アメリカでは43年夏に胴枯れ病がすでに報道されていたが、この胴枯れ病がヨーロッパ大陸やイングランドを經由してアイルランドに到達したのである。イングランドでは45年8月までに胴枯れ病は北部を除く全域にみられるようになった (Ó Gráda, C. [1989])。イングランドではジャガイモの不作が飢饉に発展しなかった。というのは、イングランドではジャガイモが主食ではなかったからである。同様にアイルランドの中流階級以上の家庭では、ジャガイモだけでなく、穀類、ミルク、肉も食べられていたので、ジャガイモの不作はかれらにとっては深刻な問題とはならなかった。一方、アイルランドの下層階級の食事はジャガイモが中心であり (Crawford, E. M. [1989]; Clarkson, L. A. and Crawford, E. M. [1988])、その不作の影響をもっとも被ったのがこの下層階級であった。

1845年の胴枯れ病の発生には地域差があった。被害の程度が大きかった州は、ウォーターフォード、アントリム、モナハン、クレーアである。また、平均以上の被害を受けたのは、ダウン、ロスコモン、ゴールウェイの各州と、ダブリン・ミース地域、リムリック・ティベラリー地域であった。

表1は大飢饉のときのジャガイモの収穫をみたものである。胴枯れ病が広範囲にわたって発生したのが1845年10月から11月であり、そのときまでに「早できのジャガイモ」はすでに収穫されていたので、1845年の収穫高の減少は44年の3分の1程度であった (B. P. P. 1846 [735]xxxvii; Bourke, P. M. A. [1959-60])。

表1 ジャガイモの収穫高

	作付面積 (1000エーカー)	1エーカー当たり の収穫高	収穫高 (1000トン)
1844年	2,378	(6.25) est.	(14,862) est.
1845年	2,516	(4.0) est.	(10,063) est.
1846年	1,999	(1.5) est.	(2,999) est.
1847年	284	7.2	2,046
1848年	810	3.8	3,077
1849年	719	5.6	4,024

出典) Daly, M. [1986], p. 56.

ジャガイモの収穫が著しく減少したのは、1846年である。この年の夏は暖かく湿気があり、この気候が胴枯れ病の発生を容易にしたのである。47年のジャガイモの収穫高は、大飢饉のなかで最低のものであった。この事実は、種となるジャガイモの不足、労働力不足、カブなどの他の作物への転換から説明することができる。ここで注目すべきことは、この年の不作の原因が胴枯れ病ではなかったことである。したがって、1エーカー当たりの収穫高は高くなっている。48年には胴枯れ病が再び発生し、1エーカー当たりの収穫高は47年の約半分の

水準に減少している。49年にかんしていえば、ジャガイモの作付面積は48年よりも減少しているが、1エーカー当たりの収穫高は増加している。50年には胴枯れ病は一部の地域では報告されたが、それはアイルランド全体からみれば無視できるものであった。したがって、ジャガイモの収穫高という点からみれば、大飢饉は49年におわったといえよう。

2 ジャガイモの価格

アイルランドの農業従事者の多数は、ジャガイモについては自給自足をしており、市場には収穫高の一部が出回るだけであった。ジャガイモの不作の結果、かれらは貨幣を媒介にして市場で購買しなければならなかった。以下にみるように、ジャガイモの価格は高騰しその購買は難しくなった。また、とくに貨幣を獲得する手段をもたない者たちにとっては、ジャガイモの不作は深刻なものとなったのである。

そこでジャガイモの価格をみてみよう。表2はダブリンの中央市場の食料品の1840年の卸売価格を100としたものである。

表2 大飢饉におけるアイルランドの農業生産物価格

	1845年	1846年	1847年	1848年	1949年
小麦	98	131	98	87	66
オート麦	118	187	107	196	83
大麦	118	175	116	100	85
ジャガイモ	88	323	254	292	215
バター	92	105	99	87	74
ブタ肉	92	117	149	115	88
羊肉	120	120	125	120	105
牛肉	103	104	105	110	79

出典) Daly, M. [1986], p. 58.

ジャガイモの価格は大飢饉のさいに大幅に上昇し、その価格は、45年の約3.7倍となっている。ジャガイモを主食としていた下層階級の窮状は想像にかたくない。かれらがジャガイモの代替食糧として購買したのは、オート麦と大麦である。オート麦の価格は46年と48年に、大麦の価格は46年に高騰し、この高騰はかれらの窮状に拍車をかけている。小麦、バター、ブタ肉、羊肉、牛肉の価格はあまり変動していない。下層階級にとって、これらの食糧は高価であったために大飢饉以前においても購買することはできなかった。

Ⅲ 人口の減少

1 死亡者とその死因

大飢饉の研究の人口学的側面は比較的に進んでいる (Mokyr, J. [1986]; Boyle, P. P. and Ó Gráda, C. [1986])。アイルランドの人口は、1841年センサスでは820万人、1851年センサスでは680万人とされる。このセンサスの数値と、大飢饉が存在しなかったとしてのカウンター・ファクチュアル・モデルに基づく推定によると、100万人が死亡したとされている (Mokyr, J. [1980]; Mokyr, J. [1983]; Boyle, P. P. and Ó Gráda, C. [1986])。また移民による人口の減少は120万人と計算されている。

もっとも死亡率が高かったのは、コナクト地方でとくにスライゴ、ゴールウェイ、メイヨーの各州である。反対に死亡率が低かったのは、レンスター地方東部とアルスター地方東北部の豊かな地域であった (Cousens, S. H. [1960b]; [1963])。

つぎに死亡原因についてみてみよう。はたして人々は餓死したのであろうか。死亡者の大部分は、チフス、回帰熱、赤痢によるものであった (MacArthur, W. P. [1956])。1851年のセンサスでは過去10年間の餓死者の人数を約2万人としているにすぎない。すなわち、死亡者の多くは、チフス、回帰熱といった伝染病をその死亡原因とし、飢饉を直接の原因としてはいなかった。人々は食糧を得るために、余分な衣服や寝具を売らざるをえず、汚れた衣服などの交換ができなくなったために、衛生状態が悪化したのであった。また、人々が救済された救貧院などで容易に病気が伝染していった。

2 移民

つぎに人口の減少の第2の要因として移民をみてみよう。1845年から55年にかけて150万人のアイランド人が移民したが、51年以前の移民者数は120万人と推定されている (MacDonagh, O. [1956]); Cousens, S. H. [1960a]; Cousens, S. H. [1961]; MacDonagh, O. [1976]; Fitzpatrick, D. [1984])。

大飢饉以前においても移民はアイランド社会に一般的にみられた現象であった。だが、大飢饉の時期における移民は、それ以前と比較するとつぎの4点において異なっている。第1は、貧困者の全体に占める割合が高かったことである。だが、貧困者のなかでも、その底辺層に位置する人々が大飢饉の犠牲となり、移民することはなかった。第2は、家族で移民する者の割合が高かった。第3は、貧困なアイランド西部や南西部からの移民の割合が上昇したことである。また、この傾向は現在においてもつづいている。これにたいし、1845年以前は、レンスター地方やアルスター地方といった豊かな地域からの移民の割合が高かった。第4は、渡航中の船上での移民の死亡率が高かったことである。じっさい、船上での死亡率が50パーセントを越える場合もあり、死者の多くは伝染病に感染していたのである。

アメリカおよびカナダへの移民については、Adam, W. F. [1932]、Keep, G. R. [1951]、Schrier, A. [1958]、Ó Gráda, C. [1983]、Glazier, I, and Tepper, M. [1983-86]、Miller, K. [1985]、Houston, C. J. and Smyth, W. J. [1988]、Keegan, G. [1991] の研究がある。イギリスへの移民については、Werly, J. M. [1972-3]、Lees, L. [1979]、Barber, S. [1982]、Finnegan, F. [1982]、Swift, R. [1987]、Swift, R. and Gilley, S. [1989]、本多三郎 [1981]、斎藤英里 [1985]、斎藤英里 [1990] が参考となる。

Ⅳ イギリス政府の救済策

つぎにイギリス政府の大飢饉にたいする対応を具体的にみてみよう。前述したように、民族主義的歴史観ではイギリス政府のとった政策は批判された。たとえば、19世紀のアイランド・ナショナリスト、J・ミッチェルは、「神がジャガイモの胴枯れ病をわれわれに与えたが、イングランド人が飢饉をつくりだした」と述べている。

大飢饉の救済にあたったのは、R・ピールの保守党政府 (1841-46年)、つづいてJ・ラッセルの自由党政府 (1846-52年) であった。イギリス首相が救済の最高責任者であったこと

はいうまでもないが、救済の内容の決定にかんして大きな影響力をもっていたのがイギリス大蔵省であった。1846年から47年にかけてのイギリスの金融恐慌による財政の悪化はその発言の重要性を高めている。

大蔵省のなかでも大飢饉のときに事務次官の地位にあったC・トレヴァリアンの個人的見解が、イギリス政府の救済策に大きく反映した。トレヴァリアンはレッセ・フェール（自由放任主義）の信奉者であり、そしてアイルランドの救済はアイルランドみずからおこなうものであると考えていた（Trevelyan, C. [1848]; Hart, J. [1960]; Bourke, P. M. A. [1993]）。そこで、かれは、1838年にアイルランドに導入された救貧法を基礎にした救済策をとろうとし、できるかぎり政府の介入を排除しようとした。

イギリス政府の救済策は、1845年11月から46年6月、46年7月から47年4月、47年5月から同年9月、47年10月以降、の4つの時期に分類することができる（O'Neill, T. P. [1956]; Donnelly J. S. [1989]; Kineally, C. [1984]）。

1 1845年11月から46年6月

イギリス首相ピール（保守党）は、アイルランドのジャガイモの不作の報告を受けると、ジャガイモに代わる食糧としてトウモロコシ粉の緊急輸入を決定した（O'Rourke, J. [1902]）。1845年11月に、ピールは100万人の1ヶ月分の食糧となる量のトウモロコシ粉をアメリカから購入することをロンドンの商人に命じた。購入されたトウモロコシ粉は、アイルランド各地に設けられた食糧の貯蔵所で原価で販売されている。ここで注目すべきことは、ピールの目的が、地方の商人が穀物価格を不当に上昇させることを防ぐことにあり、食糧を無料で配給することではなかったことである。46年7月に、保守党に代わってラッセルを党首とする自由党が政権を獲得すると、ピールの政策は継続されなかった。

ここで大飢饉中の、アイルランドからの穀物輸出の問題にふれておこう（Bourke, P. M. A. [1993]）。アイルランドは「世界の工場」となったイギリスに穀物を輸出していた。大飢饉のときでさえも穀物輸出は継続され、このことは民族主義的歴史観において批判の対象とされている。表3は大飢饉の期間のアイルランドからの穀物の輸出入を示したものである。

表3 1844年から48年の穀物の輸出入
(単位は1000トン)

	輸出	輸入	
1844	424	30	+394
1845	513	28	+485
1846	284	197	+87
1847	146	889	-743
1848	314	439	-125

出典) Ó Gráda, C. [1989], p. 62

この表3からわかるように、大飢饉のさいにアイルランドからの穀物輸出はおこなわれていたが、1847年にアイルランドは穀物の輸出国から輸入国に転換した。46年の穀物輸出は約28万トンで、これは100万トンのジャガイモに相当する。表1で示したように、46年のジャガイモの不作は1000万トンに及んでいるので、たとえ穀物輸出がおこなわれなくとも、食糧の絶対量は不足していたのである。しかし、穀物輸出が禁止されれば飢饉の窮状は多少なりと

も緩和されたであろう。

2 1846年7月から47年4月

新しく政権についたラッセルの自由党政府は、トウモロコシ粉の輸入政策を中止した。この中止の背景には、市場の需要と供給のメカニズムに絶対の信頼を置くレセ・フェールがあった。つまり、穀物が不足すれば穀物価格が上昇し、政府の介入なしに市場に穀物が供給されると考えられたのである。ピールがおこなったような政府による穀物輸入は、この市場メカニズムを破壊すると考えられた (Taylor, A. J. [1972]; Rashid, S. [1980])。

そこで自由党政府は、穀物輸入の代替策として道路建設などの公共事業を通じて人々の救済を図った。公共事業による救済は、アイルランドにおける伝統的な救済手段のひとつであり、これを担当したのが、1831年に設立された建設省 (Board of Works) であった (Griffith, A. R. [1970])。政府は困窮者を雇用しかれらに賃金を与えることによって救済しようとした。雇用された人数が最大であったのは、1847年3月であり、およそ75万人が雇用されている (Ó Gráda, C. [1989])。しかし、この救済策は機能しなかった。というのは、賃金を支払うべき建設省が財政的に破綻したことと、そして急騰する食糧価格に賃金が追い付かず、雇用された人々が満足に食糧を購入することができなかったからである。

3 1847年5月から9月

公共事業による救済が困難であることを理解したイギリス政府の政策は、貧困者に無料でスープを支給することにした。この賃金は救貧税、慈善、政府援助によってまかなわれた。

表4 給食施設法によって救済された人数、1847年5月から9月

	救済された人数
5月8日	944,372
6月5日	2,729,684
7月3日	3,020,712
7月31日	2,520,376
8月28日	1,105,800
9月11日	505,984

出典) Donnelly, J. S. [1989], p. 309より作成。

表4からわかるように、1847年7月3日にはアイルランド全土で1日にスープを支給された人数が300万人にも達している。スープによる救済は機能したようにみえたが、このような形の救済はレセ・フェールを志向する政府としては許容できるものではなかった。この救済策は9月をもって中止された。

4 1847年10月以降

イギリス政府は穀物輸入、公共事業の拡大、スープの支給などの特別措置によってアイルランドの窮状を救済しようとした。しかしながら、イギリス政府はこのような特別措置の恒久化を恐れ、アイルランドの救済はアイルランド自身がおこなうべきである、という原則を確立しようとした。そのために、イギリス政府は前述したような救済を中止し救貧法による

救済に切り替えた。

アイルランド救貧法は、1834年にイングランドで導入された新救貧法をモデルとし、貧困者を救貧院に収容し救済するというものであった。したがって、救貧院以外での救済は原則的におこなわれなかった。アイルランドの救貧法については、Nicholls, G. [1856]、Hiller, H. [1942]、McGrath, B. [1965]、Conway, T. G. [1969]、Conway, T. G. [1971]、Kelly, S. P. [1972]、Feingold, W. L. [1974]、O'Brien, G. [1980]、O'Brien, G. [1982]、Kineally, C. [1984]、O'Brien, G. [1985a]、O'Brien, G. [1985b]、Kineally, C. [1986a]、Burke, H. [1987]、Kineally, C. [1992]、などの研究がある。大飢饉と救貧法については、O'Neill, T. P. [1958]、Murphy, I. [1979]、Kineally, C. [1986b]、Foley, K. [1987]、Grant, J. [1990] が参考となる。

救貧法による救済も機能はしなかった。大飢饉による貧困者の増大は救貧院の収容能力をはるかに越えたものとなり、救貧院以外でも救済しなければならなかったのである。たとえば、1849年7月には20万人が救貧院に収容され、80万人が院外で救済された。また、救済者の人数を削減させるために4分の1エーカー以上の土地をもつテナントは救済の対象から除外されている。そうこうするうちに1850年代に入ると、ジャガイモの収穫が回復し、アイルランドの人口が移民や死亡などで激減し、イギリスはもはや救済策をとる必要がなくなったのである。

以上がイギリス政府のとった救済措置であるが、イギリス政府が大飢饉の救済に費やした費用は、主としてローンという形で約1000万ポンドに及んだ。だが、この額は当時の連合王国の国民総生産のわずか0.3パーセントにすぎず、1854年から56年に戦われたクリミア戦争の費用の20パーセントであった (Mokyr, J. [1983])。この額が多いのか、少ないのかは議論の分かれるところであろう。ちなみにアイルランド自身も救貧税の徴収により700万ポンドを投入している。

ここで慈善団体による救済についてもふれておこう。大飢饉のさいに救済をおこなった慈善団体の代表的なものは、フレンド教会 (Society of Friends. [1847]; Society of Friends. [1852]; Holt, J. M. [1967]) と「イギリス救済協会」であった。後者はイングランドの富裕なビジネスマンと商人たちによって設立された (Kineally, C. [1994])。この2つの組織の救済の形式は、現金ではなく食物、衣服、燃料を提供するというものであった。これらの慈善団体は十分な寄付を集めることができなかった。というのは、イギリス人の間に、アイルランドには救貧法が導入されたのであるから、その救済は救貧法によるべきであるという考えや、反カトリックの感情などが存在していたからである (O'Neill, T. P. [1968])。なお、イギリス人の大飢饉についての見方にかんしては、『パンチ』を分析した Gray, P. [1993] が参考となる。

V 結び

最後に大飢饉がその後のアイルランド社会・経済にどのような影響を与えたのか、をみてみよう。大飢饉の影響の解釈としては、それを重視する立場と軽視する立場がある。つまり、前者では19世紀のアイルランド社会・経済の、大飢饉による「断絶性」を強調し、それとは逆に軽視する立場では「連続性」を強調するのである。ここでは、大飢饉による「断絶性」を主張する立場にたって、19世紀のアイルランド社会・経済の変化を指摘しておこう。

第1に、大飢饉は人口の減少をひきおこしたが、アイルランドの人口は19世紀末まで減少しつづけた。また、男子農業労働者の人口の減少が著しく、1845年の120万人から、51年には90万人、61年には70万人と減少している (Fitzpatrick, D. [1980])。800万人を越えた大飢饉直前の人口に回復することは現在までもない。

第2は、アイルランドの農業が穀物農業から牧畜・畜産業に転換したことである。大飢饉以前の農業生産は、穀物生産が全体の3分の2を占めていたが、1854年には牧畜・畜産業が半分に達している (Ó Gráda, C. [1993]; Ó Gráda, C. [1994]; 本多三郎 [1984]; 石井光次郎 [1985]; 松尾太郎 [1987])。

第3に、アイルランドのナショナリストたちが、大飢饉をアイルランド独立の理由のひとつとして主張するようになった。つまり、かれらはアイルランドが自らの政府をもっていたならば大飢饉は防げた、と宣伝したのである (Takagami, S. [1990])。

第4は、アイルランド語が衰退したことである。1845年以前にアイルランド語はすでに衰退していた。しかし、大飢饉により死亡・移民した人々の多数がアイルランド語を日常語としていたので、1851年のアイリッシュ・スピーカーは200万人以下となったのである (Fitzgerald, G. [1984])。

ジャガイモの不作はアイルランドの下層階級にとって深刻なものとなったが、中流階級以上が飢えに陥ったということはなかった。大飢饉は当時のイギリスのアイルランド支配のあり方だけではなく、アイルランド社会の貧富の差などさまざまな問題を提起している。1995年は大飢饉の150周年にあたりアイルランド各地で記念事業がおこなわれる予定があり、大飢饉の研究が進展するであろう。

〈アイルランドの大飢饉にかんする文献目録〉

British parliamentary papers

Report of the commissioners appointed to take the census of Ireland for the year 1841. 1843 [504] xxiv.

Report of the select committee of the house of lords on the laws relating to the relief of the destitute poor in Ireland. 1846 [694] xi.

Copy of the report of Dr Playfair and Mr Lindley on the present state of the Irish potato crop, and on the prospect of the approaching scarcity. 1846 [28] xxxvii.

Report of the commissioners of inquiry into matters connected with the failure of the potato crop, 6. February 1846. 1846 [33] xxxvii.

Abstracts of the most serious representations made by the several medical superintendents of the public institutions in the province of Ulster, Munster, Leinster and Connaught. 1846 [120] xxxvii.

Instructions to committees of relief districts, extracted from minutes of proceedings of the commissioners appointed in reference to the apprehended scarcity. 1846 [171] xxxvii.

Correspondence and accounts relating to the different occasions on which measures were taken for the relief of the people suffering scarcity in Ireland between the years 1822 and 1839. 1846 [734] xxxvii.

A statement of the total expenditure for the purpose of relief in Ireland since November 1845, distinguishing final payments from sums which have been or are to be repaid. 1846 [615] xxxvii.

Correspondence explanatory of the measures adopted of her majesty's government for the relief of distress arising from the failure of the potato crop in Ireland. 1846 [735] xxxvii.

Copies of, or extracts from, any correspondence relative to the recent immigration of destitute Irish into Liverpool. 1847 [193] liv.

Report made to the board of health in Dublin by the two medical officers, Dr. R. Stephens and Dr. R. W. Smith, sent to inquire into the state of the workhouses in Cork, Bantry and Lurgan. 1847 [257] lv.

Report from the select committee of the house of lords on colonisation from Ireland. 1847 [737] vi.

Correspondence from July 1846 to January 1847 relating to the measures adopted for the relief of distress in Ireland and Scotland. commissariat series. 1847 [761] li.

Correspondence from July 1846 to January 1847 relating to the measures adopted for the relief of distress in Ireland. board of works series. 1847 [764] l.

Copies of extracts of correspondence relating to union workhouses in Ireland (first series). 1847 [766] lv.

Copies or extracts of correspondence relating to the union workhouses in Ireland (second series). 1847 [790] lv.

Correspondence from January to March 1847 relating to the measures adopted for the relief of distress in Ireland. commissariat series (second part). 1847 [796] lii.

Correspondence from January to March 1847 relating to the measures adopted for the relief of distress in Ireland. board of works series (second part). 1847 [797] lii.

First report of the relief commissioners, with appendix. 1847 [799] xvii.

Second report of the relief commissioners, constituted under the act 10 Vic., cap. 7., with appendices. 15 May 1847. 1847 [819] xvii.

Reports of boards of public works in Ireland relating to the measures adopted for the relief of distress in March 1847. 1847 [834] xvii.

Third report of the relief commissioners constituted under the act 10 cap. 7., with appendices, 17 January 1847. 1847 [836] xvii.

Fourth report of the relief commissioners constituted under the act 10 cap. 7., with appendices. 1847 [859] xvii.

Reports of the boards of public works in Ireland relating to the measures adopted for the relief of distress in June 1847. 1847 [860] xvii.

Copies or extracts of correspondence relating to union workhouses in Ireland (third series). 1847 [863] lv.

Reports of Mr Barron to the poor law commissioners. correspondence relative to the dismissal of the late board of guardians of the Lowtherstown union. 1847–8 [207] liii.

Copy of correspondence of commissioners for inquiring into what alterations may be beneficially made in the number and boundaries of the poor law unions and electoral divisions in Ireland, and a copy of instructions to the commissioners. 1847–8 [214] lii.

Copies of correspondence upon which the commissioners of the poor law in Ireland took legal advice as to the construction of the act 10 vic. c. 31., and the case submitted to them by counsel, and of the circular letter of the commissioners issued thereon. 1847–8 [442] liii.

Copies of correspondence upon which the commissioners of the poor laws took legal advice as to the construction of the 10th section of the act 10 vic., c. 31; and of the case submitted to them by counsel; and of the circular letter of the commissioners issued thereon. 1847–8 [519] liii.

Report from the select committee of the house of lords appointed to inquire into the operation of the poor laws relative to the rating of immediate lessors. 1847–8 [594] xvii.

Fifth, sixth, seventh reports from the relief commissioners constituted under the act 10 vic. cap. 7., with appendices. 1847–8 [876] xxix.

Papers relating to the proceedings for the relief of distress, and state of the unions and workhouses in Ireland. fourth series. 1847–8 [896] liv.

Papers relating to the proceedings for the relief of distress, and state of the unions and workhouses in Ireland. fifth series. 1847–8 [919] lii.

Papers relating to the proceedings for the relief of distress, and state of the unions and workhouses in Ireland. sixth series. 1847–8 [955] lvi.

Supplementary appendix to the seventh, and last, report of the relief commissioners, 31 December 1847. 1847–8 [956] xxix.

Papers relating to the proceedings for the relief of distress, and state of the unions and workhouses in Ireland. seventh series, 1847–8 [999] liv.

Poor law unions (Ireland) : returns of each union in Ireland for which guardians and temporary inspectors have been appointed ..., 1848 [240] liii.

Reports and minutes of evidence from the select committee on poor laws (Ireland), 1849 [58] xv, Part I ; (356), xv, Part II.

Copy of letter from the secretary of state for the home department, dated 31 January 1849, with reference to the restoration of elected boards of guardians in certain unions in Ireland. 1849 [61] xlvii.

Copy of an order, dated 22 January, altering the dates of the proceedings of the annual elections of guardians, and of an order dated 5 February, prescribing amended rules for the government of workhouses. 1849 [82] xlvii.

Copy of all correspondence between the commissioners in Ireland and England relative to the removal of John McCoy from Newcastle-Upon-Tyne to Armagh, including the opinion of counsel thereon. 1849 [159] xlvii.

First report of the select committee of the house of lords, appointed to inquire into the operation of the Irish poor law, and the expediency of making any amendments in its enactments. 1849 [192] xvi.

Report from the select committee on the Irish poor law. 1849 [209] xv.

Copy of a letter to her majesty's secretary of state for the home department sent by Edward Rushton, stipendiary magistrate of Liverpool, dated 21 April 1849. 1849 [266] xlvii.

Return of number of Irish poor relieved out of the poor rates in the year 1848 in the city of London, Marylebone, Westminster, Lambeth, Southwark, Tower Hamlets and Finsbury respectively; and of the money value for the relief so afforded; similar returns to Liverpool, Glasgow, Bristol, Cardiff, Newport, Merthyr Tydvil, Manchester, Salford, Preston, Bury, Leeds, Paisley and Edinburgh, respectively. 1849 [342] xlvii.

Return of all sums of money either granted or advanced from the exchequer of the United Kingdom, on account of the distress and famine. 1849 [352] iil.

Report of the select committee on poor laws, Ireland, together with minutes of evidence. 1849 [403] xv.

Notices served upon relieving officers of the poor law districts in Ireland by landowners and others under the evicted destitute poor act (11&12 vict. c. 47). 1849 [517] xlix.

Papers relating to the aid afforded to the distressed unions in the west of Ireland. 1849 [1010] xlviii.

Papers relating to the aid afforded to the distressed unions in the west of Ireland. 1849 [1019] xlviii.

Papers relating to the aid afforded to the distressed unions in the west of Ireland. 1849 [1023] xlviii.

Papers relating to the proceedings for the relief of distress, and state of the unions and workhouses in Ireland (eighth series). 1849 [1042] xlviii.

Final report of the board of public works in Ireland, September 1847. 1849 [1047] xxiii.

Further papers relating to the aid afforded to the distressed unions in the west of Ireland. 1849 [1060] xlviii.

Further papers relating to the aid afforded to the distressed unions in the west of Ireland. 1849 [1077] xlviii

Reports relating to evicted poor in the Kilrush union 1849 [1089] xlix.

Reports of colonial land and emigration commissioners:

Ninth report 1849 [1082] xxii.

Tenth report 1850 [1274] xxiii.

Eleventh report 1851 [1382] xxii.

Thirteenth report 1853 [1647] xl.

Fourteenth report 1854 [1833] xxviii.

Sixteenth report 1856 [2089] xxiv.

Twentieth report 1860 [2696] xxix.

Reports of the commissioners for inquiring into the number and boundaries of poor law unions and electoral divisions in Ireland:

First report 1859 [1015] xxiii.

Second report 1850 [1145] xxvi.

Third report 1850 [1147] xxvi.

Fourth report 1850 [1147] xxvi.

Fifth report 1850 [1148] xxvi.

Sixth report 1850 [1148] xxvi.

Seventh report 1850 [1155] xxvi.

Eighth report 1850 [1199] xxvi.

Ninth report 1850 [1191] xxvi.

Tenth report 1850 [1223] xxvi.

Eleventh report 1850 [1257] xxvi.

Twelfth report 1850 [1277] xxvi.

Thirteenth report 1850 [1277] xxvi.

Fourteenth report 1850 [1278] xxvi.

Statement of the liabilities under advances from the consolidated fund ..., 1850 [65] l

Returns showing the financial state of each union in Ireland, where paid guardians were appointed ..., 1850 [109] l.

Copies of all reports and resolutions made by all boards of guardians, either entered on minutes or transmitted to the poor law commissioners in those unions where paid guardians have acted, relating to the management of those unions while under the superintendence of paid guardians. 1850 [251] l.

Copy of report addressed to the poor law commissioners by Inspector Bourke, with reference to the condition of the Kilrush union. 1850 [259] l.

- Copy of report made to the board of guardians of the Castlebar union on 20th April, by Dr Ronayne, medical superintendent of the union, relative to the state of the workhouse.* 1850 [382] l.
- Copy of report addressed to the poor law commissioners on the 17th day of May, by Capt R. T. Farren, temporary inspector, with reference to the condition of Castlebar union.* 1850 [461] l.
- Report of the select committee appointed to inquire into the administration of the poor law in the Kilrush union since 29 September 1848.* 1850 [613] xi.
- Report from the select committee of the house of lords appointed to investigate and report upon the allegations and charges contained in the petition of the boards of guardians of the union of Carrick-on-Shannon, complaining of the management and misconduct of the late vice-guardians of the said union.* 1850 [725] xi.
- Report of the Irish poor law commissioners on the measures taken for carrying into effect the recommendations of the boundary commissions.* 1850 [1162] xxvi.
- Copies of any correspondence which may have taken place in relation to the dismissal of the board of elected guardians of the Ennistymon union, and the appointment of paid guardians therein.* 1851 [203] xlix.
- Copies of correspondence between the poor law commissioners and their inspectors relative to the statements contained in an extract from a book entitled 'Gleanings from the west of Ireland'.* 1851 [218] xlix.
- Copy of a report made to the poor law commissioners by Mr Lucas, temporary inspector in charge of the Kilrush union, in regard to certain statements regarding the management of the Kilrush union, contained in a letter signed S. Godolphin Osborne which appeared in The Times newspaper of 31 March 1851.* 1851 [234] xlix.
- Report on ... the workhouse in Dingle union by Capt. Spark.* 1851 [427] xlix.
- Report from the select committee on the passenger act, with the proceedings of the select committee, minutes of evidence, appendices and index.* 1851 [632] xiii.
- Rate-in-Aid (Ireland).* 1852 [87] xlv.
- Copies or extracts of communications between the secretary of state for the home department, the lord-lieutenant of Ireland, the poor law commissioners (Ireland) or any other person, in the years 1846-7, respecting the means of affording temporary relief in Ireland, by employment on public works or otherwise.* 1852 [123] xvii.
- Analysis of returns of poor employment under 9 vic. c. l. 9 and 10 vic. c. 107 from week ending 10 October 1846 to week ending 26 June 1847.* 1852 [169] xviii.
- Report of Sir C. E. Trevelyan on the consolidated annuities (13 vic. c. 14) and the modification of them for the year ending 30 September 1851, authorised by the treasury minute of 21st of the following month.* 1852 [1463] xlvii.
- Report of the commissioners of health on the epidemics of 1846 to 1850.* 1852 [1562] xli.
- Analysis of returns of poor employment under 9 vic. c. l and 9 & 10 vic. c. 107 from week ending 10 October 1856 to week ending 26 June 1847.* 1853 [169] xviii.
- Report from the select committee on poor removal.* 1854 [396] xvii.
- Report of Messrs Bromley and Stephenson, 1854, relative to the poor law commission etc. Ireland; and treasury minute; and other papers.* 1854-5 [28] xlv.
- Copies of report of the poor law inspector upon the investigation of the case of William Kelly, removed to Ireland ...* 1856 [202] xlix.
- Report of the commissioners appointed to take the census for Ireland for the year 1851.* 1856 [2087] xxxi 1856

[2134] xxxi.

Report from the select committee on destitution (Gweedore and Cloughaneely); together with the proceedings of the committee, minutes of evidence, etc. 1857–8 [412] lxxxxi.

Royal commission on the poor laws and relief of distress - report on Ireland. 1909 [4630] xxxvii.

二次史料

Adam, W. F., *Ireland and Irish Emigration to the New World, 1815 to the Famine*, New Haven, 1932.

Barber, S., 'Irish Migrant Agricultural Labourers in Nineteenth-Century Lincolnshire', *Saothar*, no. 8, 1982.

Black, R. D. C., *Economic Thought and the Irish Question*, Cambridge, 1960.

Bourke, P. M. A., 'The Extent of the Potato Crop in Ireland at the Time of the Famine', *Journal of the Statistical and Social Inquiry of Ireland*, xx. Part 3, 1959–60.

Bourke, P. M. A., 'The Potato, Blight, Weather and the Irish Famine', Ph. D. thesis, University College, Cork, 1965.

Bourke, P. M. A., 'The Use of the Potato Crop in Pre-Famine Ireland', *Journal of the Statistical and Social Inquiry Society of Ireland*, 12(6), 1968.

Bourke, P. M. A., *The Visitation of God ? The Potato and the Great Irish Famine*, Dublin, 1993.

Bowen, D., *Souperism; myth or reality*, Cork, 1970.

Boylan, T. A., and Foley, T. P., *Political Economy and Colonial Ireland*, London, 1992.

Boyle, P.P. and Ó Gráda, C., 'Fertility Trends, Excess Mortality and the Great Irish Famine', *Demography*, xxiii, 1986.

Burke, E., *Thoughts and Details on Scarcity, originally presented to the Right Hon. William Pitt in November 1795*, London, 1795.

Burke, H., *The People and the Poor Law in 19th Century Ireland*, Littlehampton, 1987.

Butt, I., *A Voice for Ireland: famine in the land*, Dublin, 1847.

Clarkson, L. A. and Crawford, E. M., 'Dietary Directions: a topographical survey of Irish diet, 1836', 1988, in R. Mitchison and P. Roebuck (eds.), *Economy and Society in Scotland and Ireland 1500–1939*, Edinburgh.

Collins, B., 'Irish Emigration to Dundee and Paisley during the First Half to the Nineteenth Century', 1981, in Goldstrom, M. and Clarkson, L. A. (eds.), *Irish Population, Economy and Society*, Oxford.

Connell, K. H., *The Population of Ireland 1750–1845*, Oxford, 1951.

Connell, K. H., *Irish Peasant Society*, Oxford, 1968.

Conway, T. G., 'The Extension of the Poor Law to Ireland', Ph. D. thesis, Loyola University, 1969.

Conway, T. G., 'The Approach to An Irish Poor Law, 1828–33', *Eire-Ireland*, vol. iv, no. 1, 1971.

Cousens, S. H., 'The Regional Pattern of Emigration during the Great Famine, 1846–51', *Transactions and Papers of the Institute of British Geographers*, no. 28, 1960a.

Cousens, S. H., 'Regional Death Rates in Ireland during the Great Famine, 1846–51', *Population Studies*, xiv, no. 1, 1960b.

Cousens, S. H., 'Emigration and Demographic Change in Ireland, 1851–61', *Economic History Review*, xiv, no.2, 1961.

- Cousens, S. H., 'The Regional Variation in Mortality during the Great Irish Famine', *Proceedings of the Royal Irish Academy*, lxii, section. c. no. 3, 1963.
- Cousens, S. H., 'The Regional Variation in Emigration from Ireland between 1821 and 1841', *Institute of British Geographers, Transactions*, no. 37, 1965.
- Crawford, E. M., 'Dearth, Diet and Disease in Ireland, 1850 : a case study of nutritional deficiency', *Medical History*, 28, 1984.
- Crawford, E. M., 'Scurvy in Ireland during the Great Famine', *Social History of Medicine*, no.3, 1988.
- Crawford, E. M. (ed.), *Famine, The Irish Experience 900–1900 : subsistence crises and famines in Ireland*, Edinburgh, 1989.
- Crosby, T. L., *Sir Robert Peel's Administration 1841–46*, London, 1976.
- Crotty, R., *Irish Agricultural Production : its volume and the structure*, Cork, 1966.
- Cullen, L. M., 'Irish History without the Potato', *Past and Present*, vol. 40, July 1968.
- Cullen, L. M., *An Economic History of Ireland from 1660*, London, 2nd ed. 1987.
- Cullen, L. M. and Smout, T. C. (eds.), *Comparative Aspects of Scottish and Irish Economic and Social History 1600–1800*, Edinburgh, 1978.
- Cullen, L. M., *The Emergence of Modern Ireland*, London, 1981.
- Daly, M., *The Famine in Ireland*, Dundalk, 1986.
- Devereux, *Theories of Famine*, New York, 1993.
- Donnelly, J. S. *The Land and People of Nineteenth-Century Cork : the rural economy and the land question*, London, 1975.
- Donnelly, J. S. 'The Great Famine', 1989, in Vaughan, W. E. (ed.), *A New History of Ireland*.
- Drake, M., 'Marriage and Population Growth in Ireland 1750–1845', *Economic History Review*, 16, 1963.
- Edwards, R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine : studies in Irish history*, Dublin, 1956.
- Feingold, W. L., 'The Irish Boards of Poor Law Guardians, 1872–86, a revolution in local government', Ph. D. thesis, University of Chicago, 1974.
- Finnegan, F., *Poverty and Prejudice : Irish immigrants in York 1840–1875*, Cork, 1982.
- Fitzgerald, G., 'Estimates for Baronies of Minimum Level of Irish-speaking amongst Successive Decennial Cohorts : 1771–1871 to 1861–1871', *Proceedings of the Royal Irish Academy*, Section c, vol. 84, no.3, 1984.
- Fitzpatrick, D., 'The Disappearance of the Irish Agricultural Labourers', *Irish Economic and Social History*, 7, 1980.
- Fitzpatrick, D., *Irish Emigration 1801–1921*, Dundalk, 1984.
- Fitzpatrick, D., 'Was Ireland Special', *Historical Journal*, xxxiii, 1990.
- Foley, K., 'The Killarney Poor Law Guardians and the Famine, 1845–52', M. A. thesis, New University of Ulster, Coleraine, 1987.
- Foster, R., *Modern Ireland 1600–1972*, London, 1988.
- Gash, N., *Sir Robert Peel : the life of Sir Robert Peel after 1830*, London, 1972.
- Gibbon, P., 'Colonialism and the Great Starvation in Ireland 1845–9', *Race and Class*, 17, 1965.
- Glazier, I. and Tepper, M., *The Famine Immigrants : list of Irish immigrants arriving at the port of New York*

- 1846–1851, Baltimore, 1983–1986.
- Gooch, G. P. (ed.), *The Later Correspondence of Lord John Russell 1840–1878*, London, 1925.
- Gray, P., 'British Politics and the Irish Land Question, 1843–50', D. Phil. thesis, Cambridge, 1992.
- Gray, P., 'Punch and the Great Famine', *History Ireland*, vol. 1, 1993
- Gray, P., 'The Triumph of Dogma: ideology and famine relief', *History Ireland*, vol. 3, 1995
- Griffith A. R., 'The Irish Board of Works during the Famine Years', *Historical Journal*, xiii, no. 4, 1970.
- Grant, J., 'The Great Famine in the Province of Ulster : the mechanisms of relief', Ph. D. thesis, Queen's University, Belfast, 1986.
- Grant, J., 'The Great Famine and the Poor Law in Ulster : the rate-in-aid issue of 1849', *Irish Historical Studies*, xxvii, no. 150, 1990.
- Green, E. R. R., 'Agriculture', 1956, in Edwards, R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine*.
- Hannigan, K., 'Wicklow in the Famine Years', *Wicklow Historical Journal*, 1/5, 1992.
- Hart, J., 'Sir Charles Trevelyan at the Treasury', *English Historical Review*, lxxv, 1960.
- Hickey, P., 'A Study of Four Peninsula Parishes in West Cork, 1796–1855', M. A. thesis, University College, Cork, 1980.
- Holt, J. M., 'The Quakers in the Great Irish Famine', M. Litt. thesis, Trinity College, Dublin, 1967.
- Hoppen, K. T., *Elections, Politics and Society in Ireland 1832–1885*, Oxford, 1984.
- Houston, C. J. and Smyth, W. J., 'The Geography of Irish Emigration to Canada', *Familia, Ulster Genealogical Review, Belfast*, 1988.
- Keegan, G., *Famine Diary : journey to a new world*, Dublin, 1991.
- Keep, G. R., 'The Irish Emigration to North America in the Second Half of the Nineteenth-Century', Ph. D. thesis, Trinity College, Dublin, 1951.
- Kelly, J., 'Scarcity and Poor Relief in Eighteenth-Century Ireland : the subsistence crisis of 1782–84', *Irish Historical Studies*, xxviii, no. 109, 1992.
- Kelly, S. P., 'From Workhouse to Hospital : the role of the Irish workhouses in medical relief to 1921', M. A. thesis, University College, Galway, 1972.
- Kineally, C., 'The Irish Poor Law, 1838–62', Ph. D. thesis, Trinity College, Dublin, 1984.
- Kineally, C., 'The Administration of the Poor Law in County Mayo, 1838–98', *Cathair Na Mart : Journal of the Westport Historical Society*, vi, no. 1, 1986a.
- Kineally, C., 'The Lisburn Workhouse during the Famine', *Journal of the Lisburn Historical Society*, Belfast, 1986b.
- Kineally, C., 'The Workhouse System in County Waterford 1838–1923', 1992, in Nolan, W. and Power, T. P. (eds.), *Waterford : History and Society*, Dublin.
- Kineally, C., *This Great Calamity: the Irish famine 1845–52*, Dublin, 1994.
- Kirse, S., *The Famine Years in the Parish of Killaloe, 1845–51*, Killaloe, 1984.
- Larkin, E., 'The Devotional Revolution in Ireland 1850–1875', *American Historical Review*, 77, 1972.
- Lee, *The Modernisation of Irish Society 1848–1918*, Dublin, 1973.
- Lees, L., *Exiles of Erin : Irish migrants in Victorian London*, Manchester, 1979.
- Lindsay, D. and Fitzpatrick, D., (eds.), *Records of the Irish Famine : a guide to local archives 1840–1855*, Dublin,

- 1994.
- Lowe, W. J., *The Irish in Mid-Victorian Lancashire*, New York, 1989.
- Mandler, P., *Aristocratic Government in the Age of Reform : Whigs and Liberals 1830–1852*, Oxford, 1990.
- MacArthur, W. P., 'Medical History of the Famine', 1956, in R. D. and Williams, T. D. (eds.). *The Great Famine*.
- MacDonagh, O., 'Irish Emigration to the United States of America and the British Colonies during the Famine', 1956, in R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine*.
- MacDonagh, O., 'The Poor Law, Emigration, and the Irish Question', *Christus Rex*, xii, 1958.
- MacDonagh, O., *A Pattern of Government Growth : the passenger acts and their enforcement*, London, 1961.
- MacDonagh, O., 'Irish Famine Emigration to the United States', *Perspectives in American History*, x, 10, 1976.
- McDowell, R. B., 'Ireland on the Eve of the Famine', 1956, R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine*.
- McDowell, R. B., *The Irish Administration 1801–1914*, London, 1964.
- McGrath, B., 'Introduction of the Poor Law to Ireland, 1831–8', M. A. thesis, University College, Dublin, 1965.
- McGregor, P., 'The Impact of the Blight upon the Pre-Famine Rural Economy of Ireland', *Economic and Social Review*, 15, 1984.
- McHugh, R. J., 'The Famine in Irish Oral Tradition', 1956, in Edwards R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine*.
- Miller, D. W., 'The Irish Catholicism and the Great Famine', *Journal of Social History*, ix, 1975.
- Miller, H., 'The Administration of the Poor Laws in Ireland till 30th November, 1921; and in Northern Ireland from the 1st December, 1921, till present date', M. A. thesis, The Queen's University of Belfast, 1942.
- Miller, K., *Emigrants and Exiles : Ireland and the Irish exodus to North America*, Oxford, 1985.
- Mokyr, J., 'Industrialization and Poverty in Ireland and the the Netherlands : some notes toward a comparative case-study', *Journal of Interdisciplinary History*, 10, 1980.
- Mokyr, J., 'The Deadly Fungus : an economic investigation into the short-term demographic impact of the Irish Famine, 1846–1851', *Research in Population Economics*, 2, 1980.
- Mokyr, J., 'Irish History with the Potato', *Irish Economic and Social History*, viii, 1981.
- Mokyr, J., *Why Ireland Starved : a quantitative and analytical history of the Irish economy 1800–50*, London, 1983.
- Mokyr, J. and Ó Gráda, C., 'Emigration and Poverty in Pre-Famine Ireland', *Explorations in Economic History*, xix, no.4, 1983.
- Mokyr, J. and Ó Gráda, C., 'New Developments in Irish Population History, 1700–1845', *Economic History Review*, 47, 1984.
- Montague, R. J., 'Relief and Reconstruction in Ireland 1845–49', D. Phil. thesis, Oxford University, 1976.
- Murphy, I., 'Captain A. E. Kennedy, Poor Law Inspector, and the Great Famine in the Kilrush Union, 1847–50', *The Other Clare*, iii, April 1979.
- Nicholls, G., *A History of the Irish Poor Law*, London, 1856.
- Nowlan, K. B., 'The Political Background', 1956, in Edwards, R. D. and Williams, T. D. (eds.) *The Great Famine*.
- O'Brien, G., *The Economic History of Ireland from the Union to the Famine*, London, 1921.
- O'Brien, G., 'The Administration of the Poor Law in Ireland, 1838–1853', M. A. thesis, University College, Cork, 1980.

- O'Brien, G., 'The Establishment of Poor-law Unions in Ireland, 1838–43', *Irish Historical Studies*, vol. xxiii, no. 90, November 1982.
- O'Brien, G., 'The New Poor Law in Pre-famine Ireland : a case history', *Irish Economic and Social History*, xii, 1985a.
- O'Brien, G., 'Workhouse Management in Pre-Famine Ireland', *Proceedings of the Royal Irish Academy*, 86, 1985b.
- Ó Gráda, C., 'A Note on Nineteenth-Century Emigration Statistics', *Population Studies*, vol. 29, 1975.
- Ó Gráda, C., 'Across the Briny Ocean : some thoughts on Irish emigration to America 1800–50', 1983, in T. M. Devine and D. Dickson (eds.), *Ireland and Scotland 1800–50*, Edinburgh. (津波古充文訳『アイルランドとスコットランド 比較社会経済史』論創社、1992年)
- Ó Gráda, C., 'Malthus and the Pre-Famine Economy', in A. Murphy (ed.), *Economists and the Irish Economy*, Dublin, 1984.
- Ó Gráda, C., *The Great Irish Famine*, Dublin, 1989.
- Ó Gráda, C., 'Making History in Ireland in the 1940s and 1950s : the saga of the Great Famine', *The Irish Review*, no. 12, 1992.
- Ó Gráda, C., *Ireland Before and After the Famine : explorations in economic history 1800–1925*, 2nd ed., Manchester, 1993.
- Ó Gráda, C., *Ireland : a new economic history 1780–1939*, Oxford, 1994.
- O'Neill, T. P., 'The Organisation and Administration of Relief, 1845–52', 1956, in Edwards, R. D. and Williams, T. D. (eds.), *The Great Famine*.
- O'Neill, T. P., 'The Irish Workhouses during the Great Famine', *Christus Rex*, xii, 1958.
- O'Neill, T. P., 'The Famine of 1822', M. A. thesis, National University of Ireland, 1966.
- O'Neill, T. P., 'The State, Poverty and Distress in Ireland, 1700–1900', Ph. D. thesis, Thinity College, Dublin, 1968.
- O'Rourke, J., *History of the Great Irish Famine of 1847*, 3rd ed., Dublin, 1902.
- O'Rourke, K., 'Did the Great Irish Famine Matter?', *The Journal of Economic History*, li, 1991.
- Ó Tuathaigh, G., *Ireland before the Famine 1798–1848*, Dublin, 1972.
- Powell, F. W. *The Politics of Irish Social Policy 1600–1990*, New York, 1992.
- Prest, J., *Lord John Russell*, London, 1972.
- Rashid, S., 'The Policy of Laissez-faire during the Scarcities', *Economic Journal*, 90, 1980.
- Royle, S. A., 'Irish Famine Relief in Early Nineteenth Century', *Irish Economic and Social History*, xi, 1984.
- Salaman, R. N., *The History and Social Influence of the Potato*, new ed., Cambridge, 1985.
- Schrier, A., *Ireland and the American Emigration, 1850–1900*, London, 1958.
- Sen, A. K., *Poverty and Famines*, Oxford, 1981.
- Senior, N. W., *Journals, Essays and Conversations relating to Ireland*, 2 vols, London, 1868.
- Society of Friends, *Distress in Ireland*, Dublin, 1847.
- Society of Friends, *Transactions of the Central Relief Committee of the Society of Friends during the Famine in Ireland in 1846 and 1847*, Dublin, 1852.
- Solar, P. M., 'Growth and Distribution in Irish Agriculture before the Famine', Ph. D. thesis, Thinity College, Dublin, 1987.

- Solar, P. M., 'Why Ireland Starved : a critical review of the econometric results', *Irish Economic and Social History*, xi, 1984.
- Swift, R., 'The Outcast Irish in the British Victorian City : problems and perspectives', *Irish Historical Studies*, xxv, no.99, 1987.
- Swift, R., and Gilley, S. (eds.), *The Irish in Britain 1815-1939*, London, 1989.
- Takagami, S., 'The Dublin Fenians, 1858-79', Ph. D. thesis, Thinity College, Dublin, 1990.
- Taylor, A. J., *Laissez-fare and State Intervention in Nineteenth-century Britain*, London, 1972.
- Trevelyan, C., *The Irish Crisis*, London, 1848.
- Vaughan, W. E. (ed.), *A New History of Ireland, vol. v : Ireland under the Union, 1801-70*, Oxford, 1989.
- Werly, J. M., 'The Irish in Manchester', *Irish Historical Studies*, no. 18, 1972-3.
- Woodham-Smith, C., *The Great Hunger : Ireland 1845-9*, London, 1962.
- Woods, C., 'American Travelers in Ireland before and during the Great Famine : a case of culture-shock', Zach, W. and Kosok, H. (eds.), *Literary Interrelations : Ireland, England and the New World*, Tübingen, 1987.

本多三郎「19世紀中葉イギリスにおけるアイルランド人貧民」堀越智編著『アイルランド・ナショナリズムの歴史的研究』論創社、1981年。

本多三郎「大飢饉後のアイルランド農業」『大阪経大論集』第159-61号、1984年。

石井光次郎「19世紀第2四半期のアイルランド農業と農業労働者」『社会経済史学』第51巻第4号、1985年。

松尾太郎「19世紀中葉におけるアイルランド経済の植民地的発展」『アイルランドと日本』論創社、1987年。

斎藤英里「19世紀のアイルランドにおける貧困と移民」『三田学会雑誌』第78巻3号、1985年。

斎藤英里「アイルランド季節移民と19世紀のイギリス農業」『三田学会雑誌』第82巻特別号-Ⅱ、1990年。